



ONOKEN 

2020年3月期第2四半期 決算説明資料 小野建株式会社

- 1 2020年3月期2Q連結決算の総括、連結損益計算書、販売管理費
- 2 セグメント別業績、連結貸借対照表
- 3 品種別販売状況
- 4 小野建の取り組み、一次加工重量の推移、工事請負金額の推移、設備投資
- 5 株主還元、2020年3月期の動向

将来の見通しに関する注意事項

資料に記載されている内容につきましては、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。

2020年3月期2Q総括 前期および計画との差異（連結）

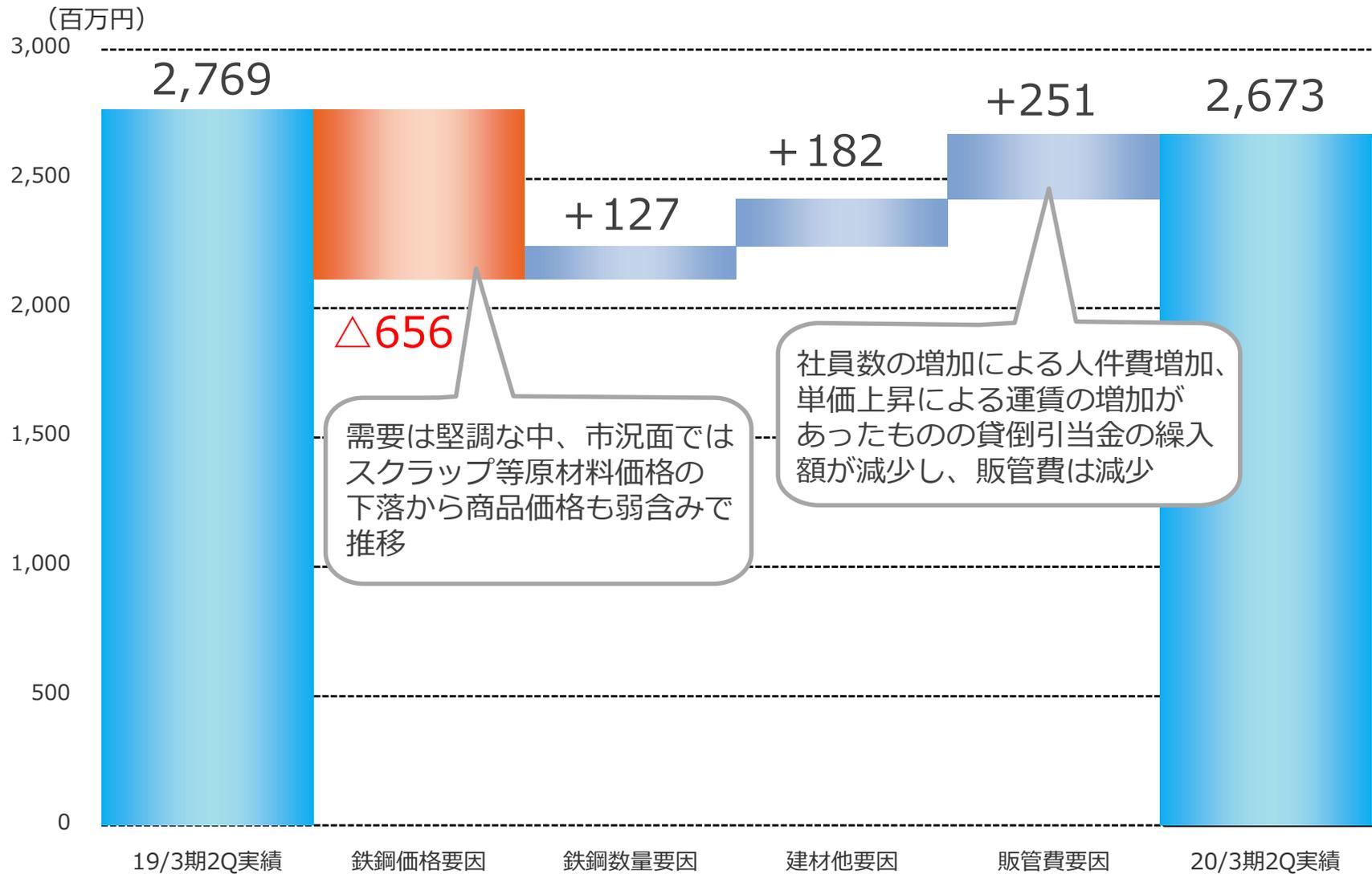


売上高は販売単価が上昇・工事請負の増加により増収
 損益面は粗利益率の低下により、営業・経常利益は減少

(百万円)

	19/3期 2Q実績	20/3期 2Q計画	20/3期 2Q実績	計画比		前年比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	108,148	115,947	112,236	△ 3,711	△ 3.2 %	+ 4,088	+ 3.8 %
売上総利益	9,685	9,654	9,338	△ 316	△ 3.3 %	△ 347	△ 3.6 %
営業利益	2,769	2,950	2,673	△ 277	△ 9.4 %	△ 96	△ 3.5 %
経常利益	2,841	3,015	2,753	△ 262	△ 8.7 %	△ 88	△ 3.1 %
親会社株主帰属 四半期純利益	1,873	2,092	1,883	△ 209	△ 10.0%	+ 10	+ 0.6 %

2020年3月期2Q総括 営業利益/前年同期比変化要因 (連結) ONOKEN



損益計算書（連結）

(百万円)

	19/3期 2Q実績	20/3期 2Q計画	20/3期 2Q実績	前年比 増減率	19/3期 通期実績	20/3期 通期計画	前年比 増減率
売上高	108,148	115,947	112,236	+ 3.8 %	232,164	239,553	+ 3.2 %
売上原価	98,462	106,293	102,897	+ 4.5 %	211,955	219,983	+ 3.8 %
売上総利益	9,685	9,654	9,338	△ 3.6 %	20,209	19,570	△ 3.2 %
販売費及び一般管理費	6,916	6,704	6,664	△ 3.6 %	13,576	13,369	△ 1.5 %
営業利益	2,769	2,950	2,673	△ 3.5 %	6,632	6,201	△ 6.5 %
営業外収益	116	114	132	+ 13.8%	286	250	△ 12.6%
営業外費用	44	49	52	+ 18.2%	238	95	△ 60.1%
経常利益	2,841	3,015	2,753	△ 3.1 %	6,680	6,356	△ 4.9 %
特別利益	18	12	12	△ 33.3%	428	12	△ 97.2%
特別損失	1	0	1	± 0 %	3	1	△ 100 %
税引前当期純利益	2,858	3,027	2,765	△ 3.3 %	7,105	6,368	△ 10.4%
法人税等事業税	984	935	881	△ 10.5%	2,441	1,960	△ 19.7%
親会社株主当期純利益	1,873	2,092	1,883	+ 0.6 %	4,664	4,408	△ 5.5 %

販売管理費（連結）

(百万円)

	19/3期2Q実績	20/3期2Q実績	前年比増減
販売費及び一般管理費	6,916	6,664	△ 3.6 %
運賃	2,109	2,138	+ 1.4 %
貸倒引当金繰入額	615	11	△ 98.2 %
人件費	2,287	2,473	+ 8.1 %
租税公課	230	252	+ 9.6 %
減価償却費	619	649	+ 4.8 %
その他	1,056	1,141	+ 8.0 %
売上原価内の減価償却	257	236	△ 8.2 %

セグメント別業績推移(連結)

(百万円)

		18/3期 2Q実績	18/3期 実績	19/3期 2Q実績	19/3期 実績	20/3期 2Q実績
九州・中国 エリア	売上	51,565	115,041	58,116	128,337	64,894
	利益	1,833	4,207	1,871	4,405	1,780
関西・中京 エリア	売上	23,042	48,571	27,076	58,250	26,366
	利益	578	1,337	649	1,339	451
関東・東北 エリア	売上	18,272	39,538	22,956	45,576	20,975
	利益	565	1,427	253	909	376

売上高は「外部顧客への売上高」を記載

貸借対照表（連結）

※主要項目のみ記載しております	19/3期 実績	20/3期 2Q実績	増減	増減率 (百万円)
流動資産	108,673	103,001	△ 5,672	△ 5.2 %
現金及び預金	5,725	5,197	△ 528	△ 9.2 %
受取手形及び売掛金・電子記録債権	72,424	64,711	△ 7,713	△ 10.6 %
商品及び製品、原材料及び貯蔵品	24,722	22,314	△ 2,408	△ 9.7 %
前渡金	5,769	10,602	+ 4,833	+ 83.8 %
固定資産	49,944	50,239	+ 295	+ 0.6 %
有形固定資産	47,908	48,367	+ 459	+ 1.0 %
資産合計	158,618	153,241	△ 5,377	△ 3.4 %
流動負債	88,051	81,950	△ 6,101	△ 6.9 %
支払手形及び買掛金・電子記録債務	45,411	39,994	△ 5,417	△ 11.9 %
短期借入金	35,951	31,763	△ 4,188	△ 11.6 %
一年以内返済予定長期借入	294	256	△ 38	△ 12.9 %
前受金	2,834	5,931	+ 3,097	+ 109.3 %
固定負債	2,034	1,988	△ 46	△ 2.3 %
長期借入金	287	178	△ 109	△ 38.0 %
負債合計	90,086	83,939	△ 6,147	△ 6.8 %
株主資本	68,191	69,091	+ 900	+ 1.3 %
純資産合計	68,531	69,302	+ 771	+ 1.1 %
負債・純資産合計	158,618	153,241	△ 5,377	△ 3.4 %

品種別販売状況（小野建単体）



（百万円・千トン・% 単価は円/Kg）

		19/3期 2Q実績		20/3期 2Q計画		20/3期 2Q実績		前年比 増減率	20/3期 通期計画		前年比 増減率
鉄鋼 商品 販売 事業	鋼板類	26,760		28,656		28,021		+ 4.7 %	55,718		△ 1.3 %
	販売数量・単価	312	85.77	329	87.10	329	85.17	+ 5.4 %	665	83.79	+ 1.4 %
	売上総利益	2,146		2,053		1,856		△ 13.5%	3,872		△ 7.0 %
	利益率	8.0		7.2		6.6		△ 1.4 P	6.9		△ 0.5 P
	条鋼類	38,278		40,479		38,779		+ 1.3 %	77,286		△ 1.6 %
	販売数量・単価	379	101.00	388	104.33	366	105.95	△ 3.4 %	738	104.72	△ 3.5 %
	売上総利益	4,057		4,110		3,991		△ 1.6 %	8,110		△ 2.0 %
	利益率	10.6		10.2		10.3		△ 0.3 P	10.5		± 0 P
	丸鋼類	14,392		15,294		15,282		+ 6.2 %	30,048		+ 3.3 %
	販売数量・単価	199	72.32	203	75.34	203	75.28	+ 2.0 %	405	74.19	+ 2.5 %
	売上総利益	700		718		682		△ 2.6 %	1,435		+ 1.5 %
	利益率	4.9		4.7		4.5		△ 0.4 P	4.8		△ 0.1 P
小計	売上高	79,430		84,429		82,082		+ 3.3 %	163,052		△ 0.6 %
	販売数量・単価	890	89.25	920	91.77	898	91.41	+ 0.9 %	1,808	90.19	△ 0.4 %
	売上総利益	6,903		6,881		6,529		△ 5.4 %	13,417		△ 3.1 %
	利益率	8.7		8.2		8.0		△ 0.7 P	8.2		△ 0.2 P

品種別販売状況（小野建単体）



(百万円)

		19/3期 2Q実績	20/3期 2Q計画	20/3期 2Q実績	前年比 増減率	20/3期 通期計画	前年比 増減率
販売事業 建材商品	建設機材商品	5,915	6,891	6,908	+ 16.8 %	14,330	△ 5.8 %
	売上総利益	311	335	324	+ 4.2 %	723	△ 2.8 %
	利益率	5.3	4.9	4.7	△ 0.6 P	5.0	+ 0.1 P
事業 工事請負	建設機材工事	15,998	15,420	15,355	△ 4.0 %	40,888	+ 6.8 %
	売上総利益	1,113	1,110	1,309	+ 17.6 %	3,016	+ 8.8 %
	利益率	7.0	7.2	8.5	+ 1.5 P	7.4	+ 0.2 P
等事業 不動産賃貸	その他事業収入	367	369	367	+ 0.0 %	727	△ 1.0 %
	売上総利益	222	241	226	+ 1.8 %	471	+ 1.9 %
合計	売上高	101,710	107,109	104,712	+ 3.0 %	218,997	+ 0.3 %
	売上総利益	8,549	8,567	8,388	△ 1.9 %	17,627	△ 1.1 %

◆全業種（特に鉄骨加工など）において人手不足

素材購入→部品購入→溶接組立加工

●当社の取り組み

- ・取引先のニーズ拡大に対応し
素材販売→一次加工品（切断・穴あけなど）販売強化
在庫品種ならびに新增設を含め加工設備を拡充
- ・鋼板加工分野にも着手

◆運転手不足・燃料高騰による物流コストの上昇

●当社の取り組み

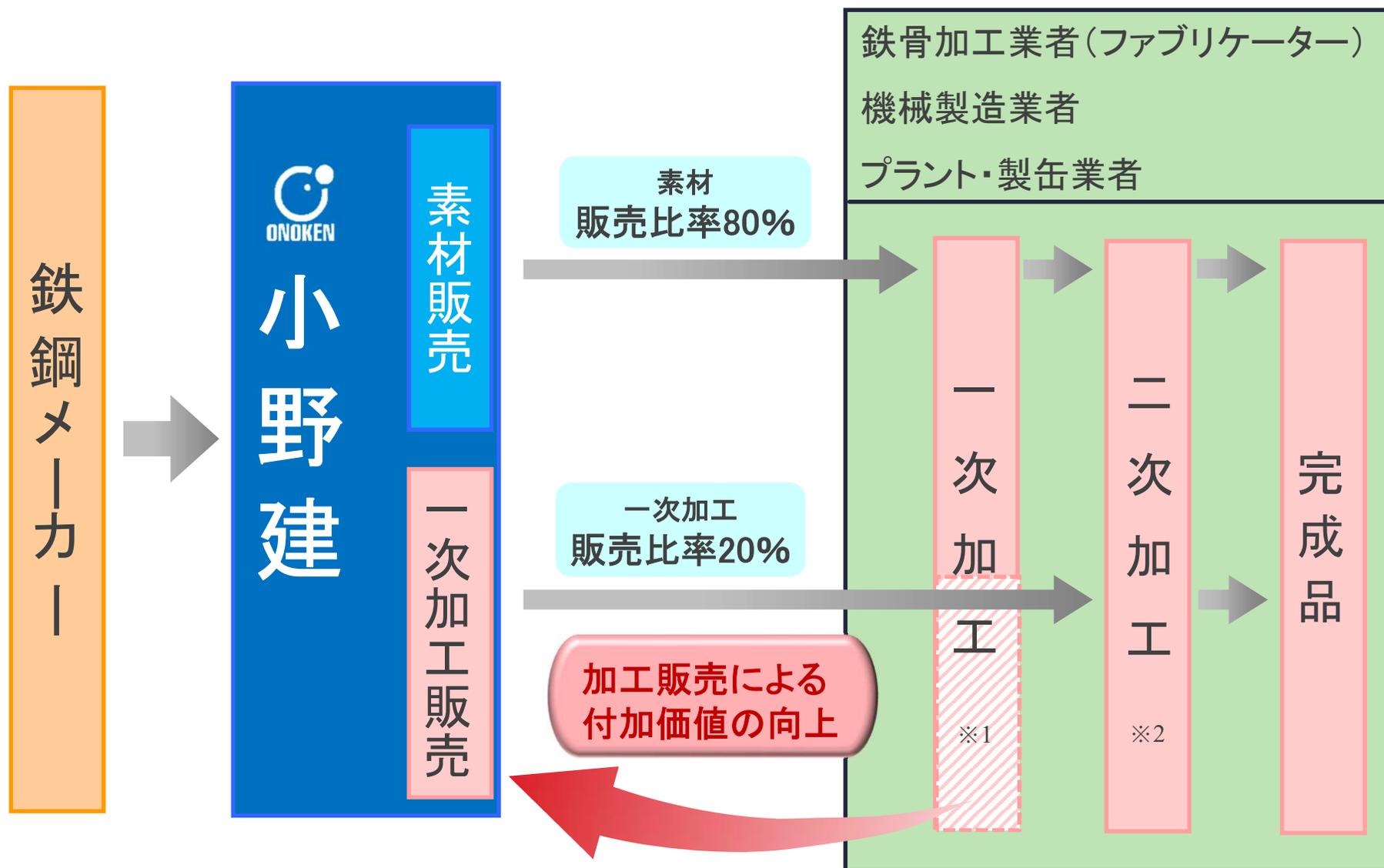
- ・福岡、大阪、東京（浦安・川崎）などの中心的物流センターを活用し
周辺地域の物流センターの展開によるジャストインタイムでの納入体制を強化
- ・自前でのトラック便の構築

◆建材メーカーの体制変化

メーカーの工事一式請負から材料販売へシフト

●当社の取り組み

- ・施工能力の拡大を目指し施工専門会社「ブライト」を2009年4月に設立
- ・専門工事技術者および施工監理技術者の養成強化（現在監理技能者87名）
- ・販売先でもある鉄骨加工業者とネットワークを作り、鉄骨工事請負の拡大
- ・その他工事請負業務の拡大

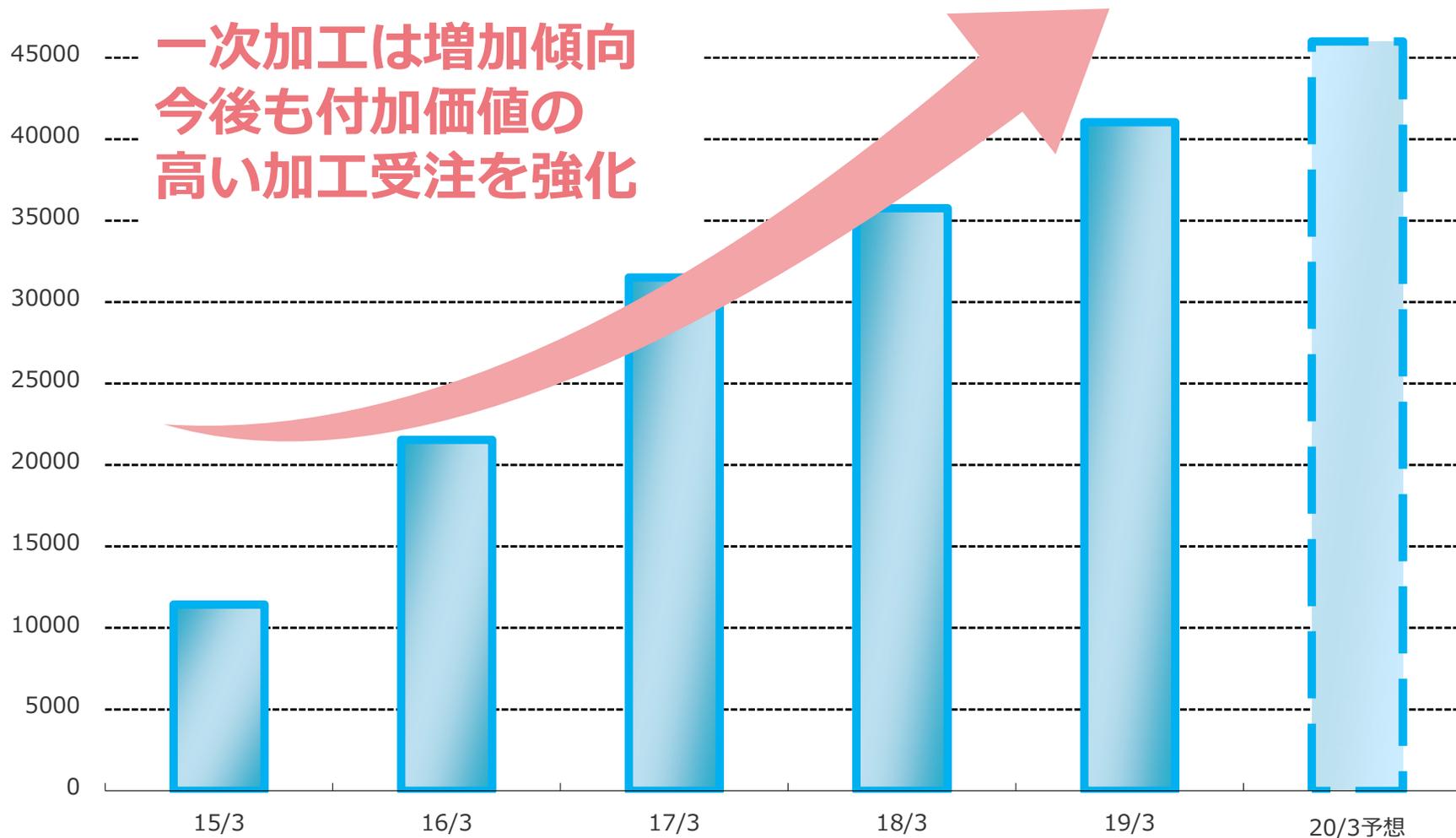


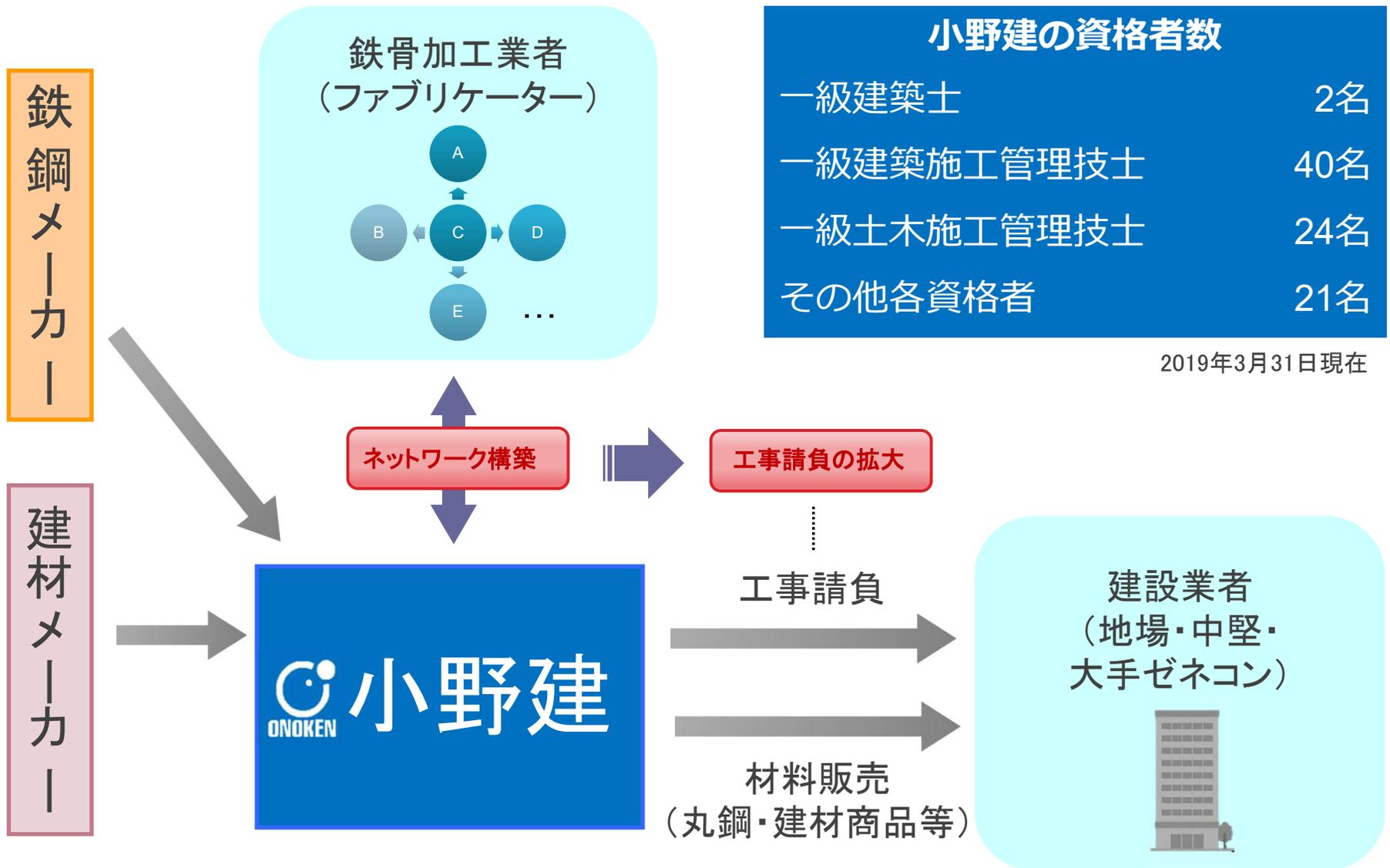
※1一次加工・・・素材を販売ニーズに合わせ、切断・穴あけ等の加工

※2二次加工・・・一次加工品に組立・溶接・塗装等の加工

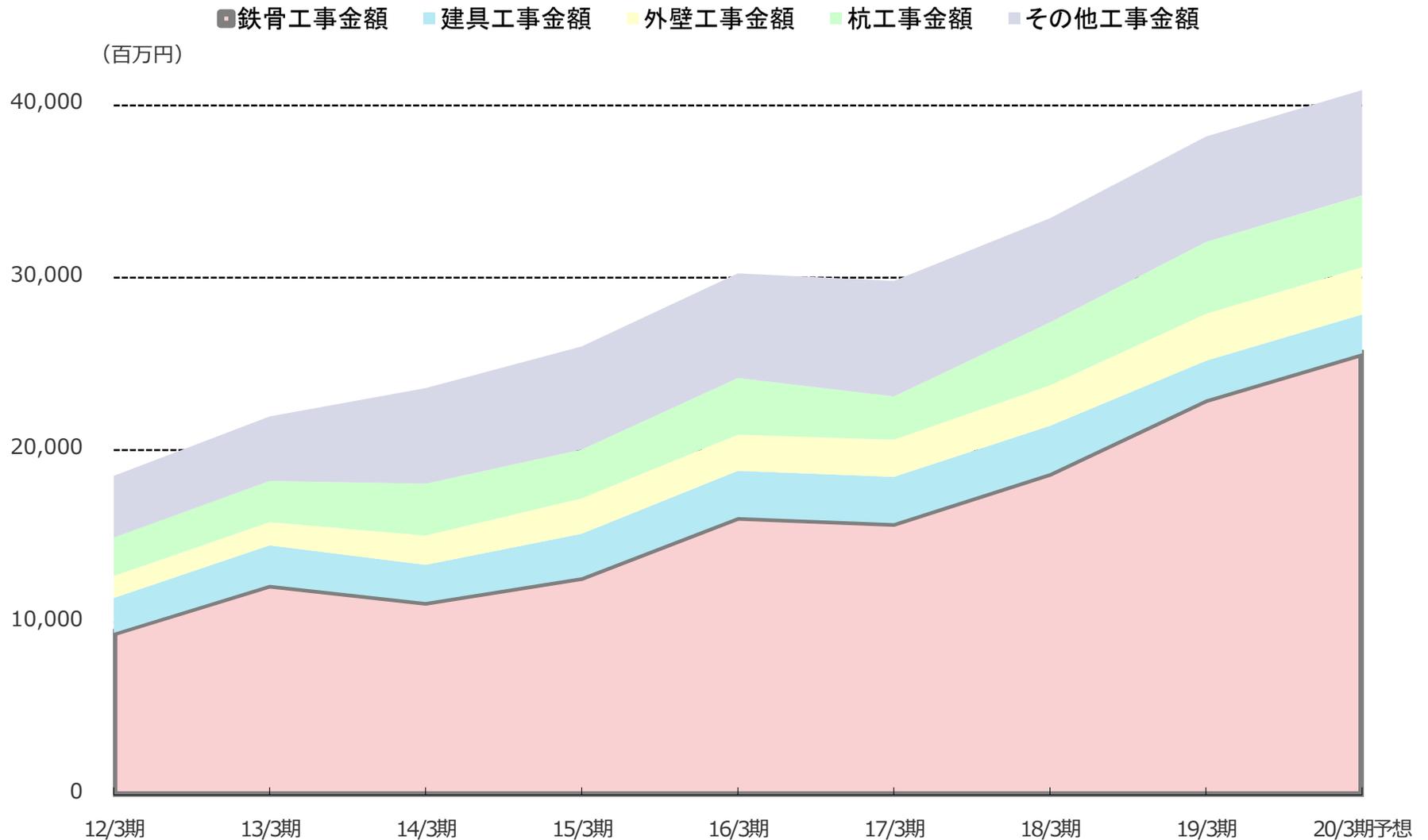
一次加工重量の推移

(トン)

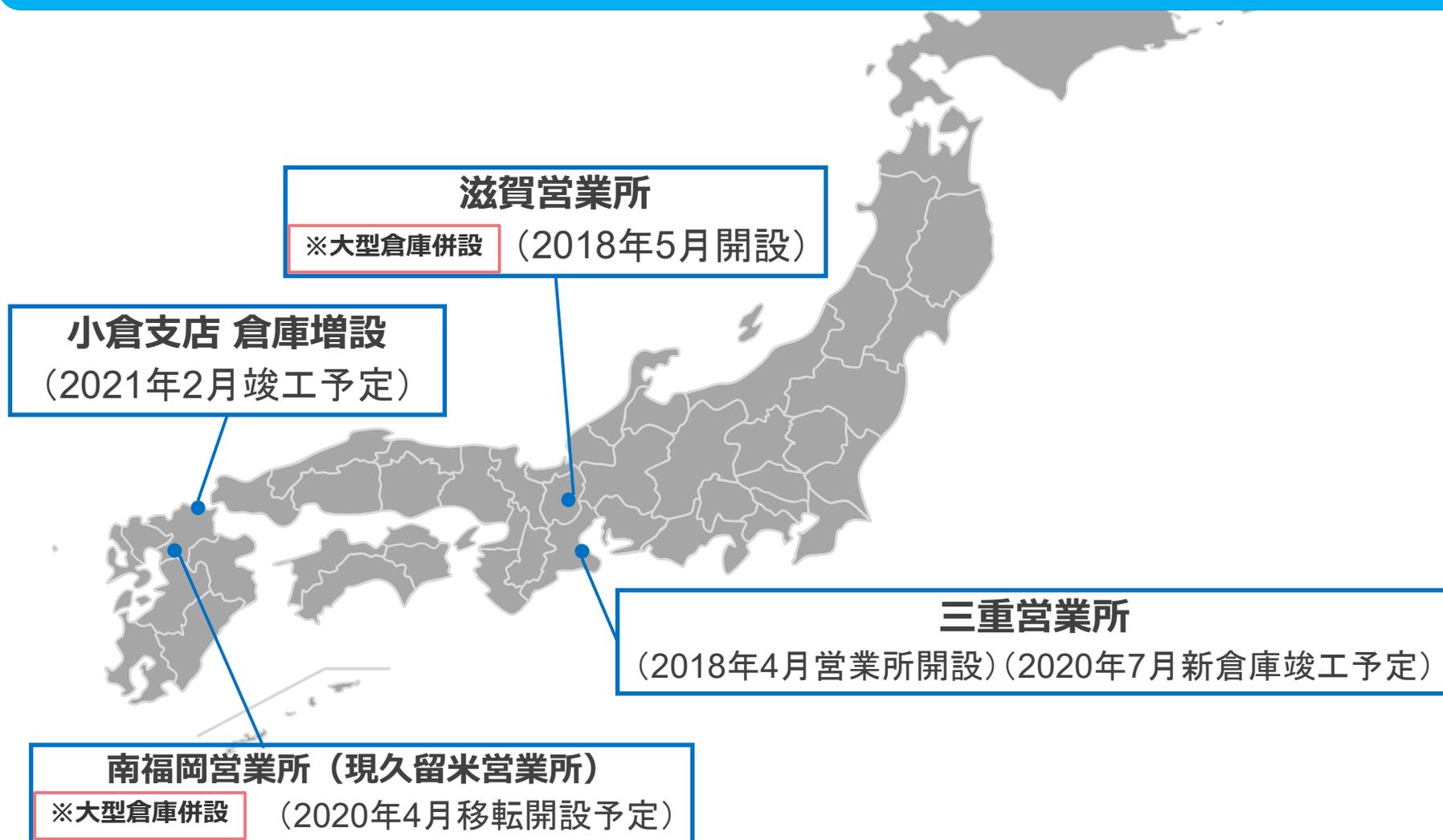


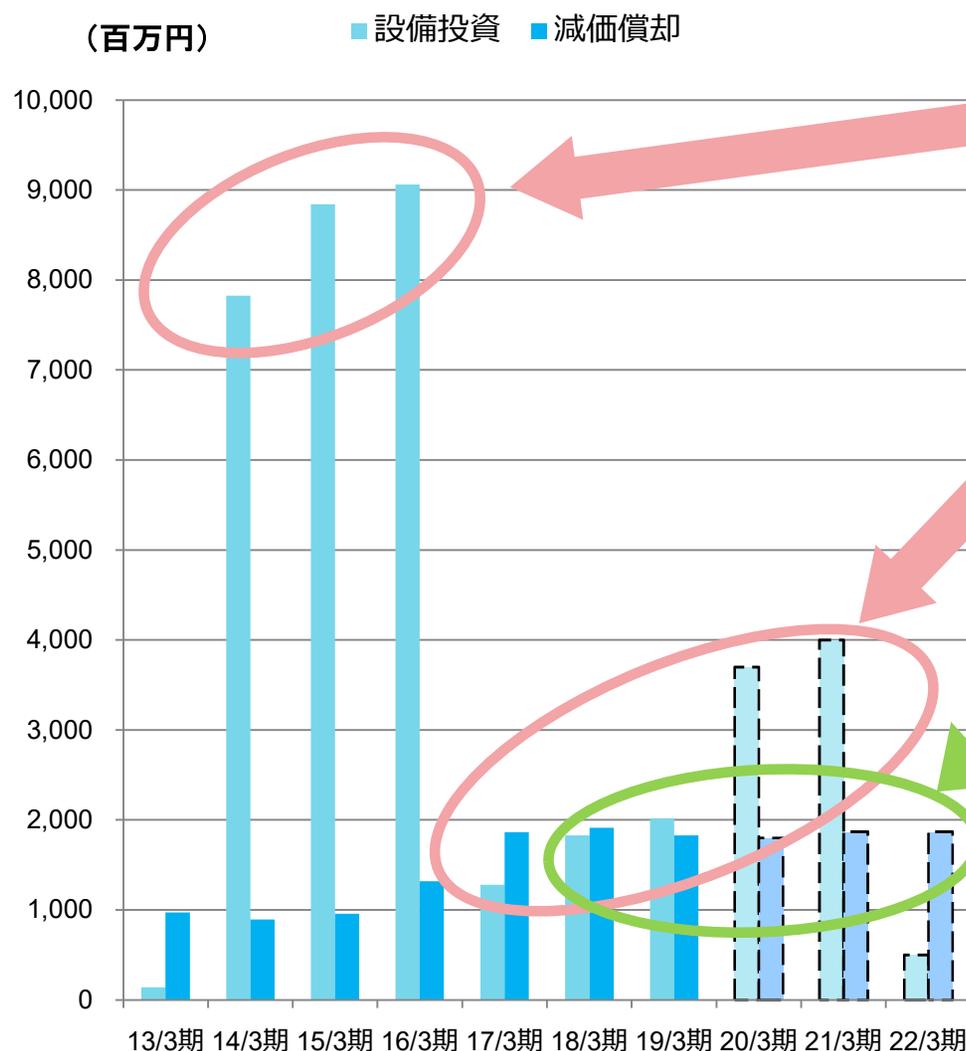


工事請負金額の推移（小野建単体）



中長期的に各地域に根差し、地域と共に発展できるグローバル企業を目指す



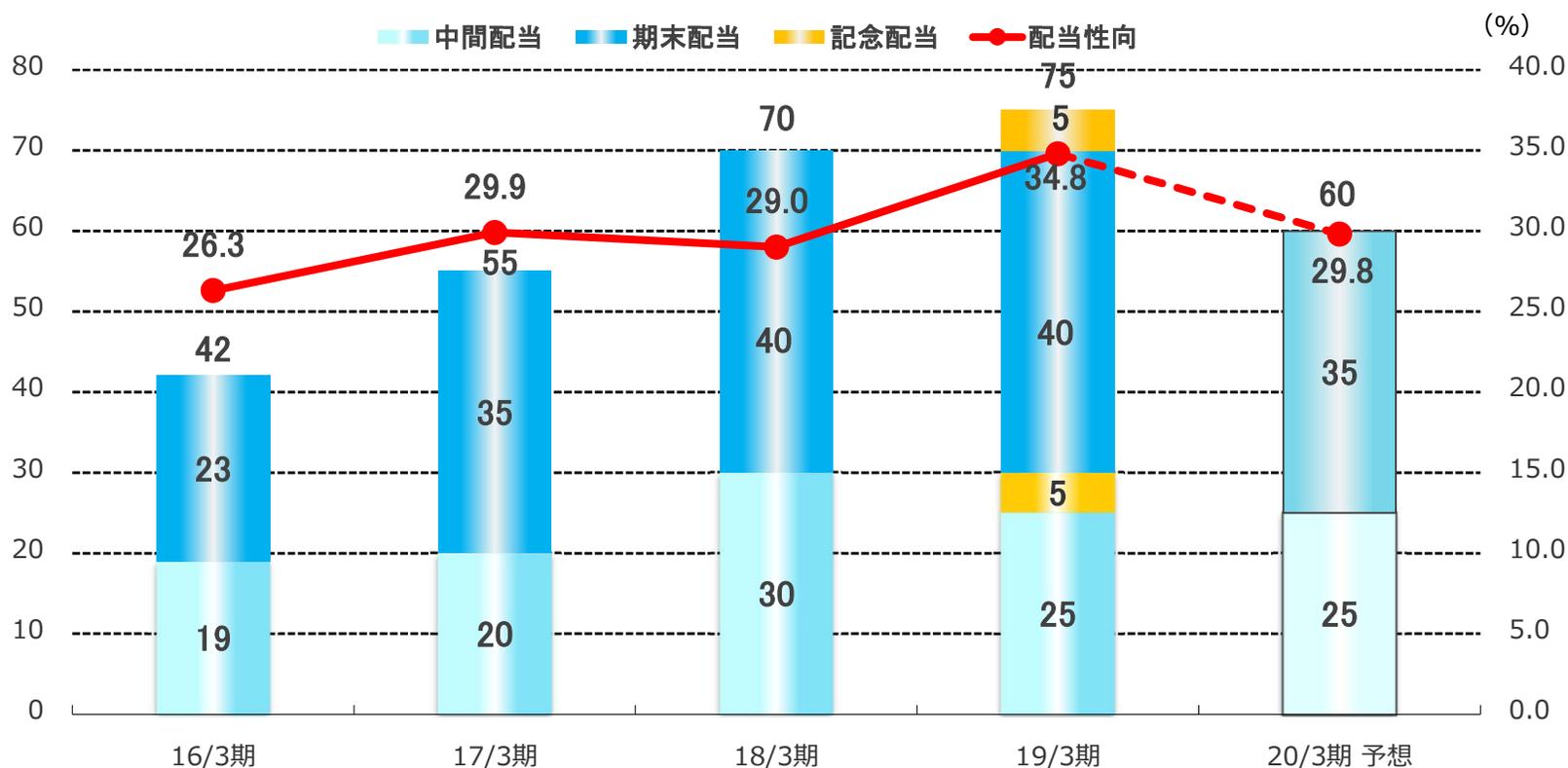


- ・ 今後10年を見つめて3年間で約260億円の設備投資を実施
- ・ 16/3で一段落したものの近年加工設備拡充のための設備投資金額が増加傾向
- ・ 減価償却費は18/3期をピークにほぼ横ばいで推移する予定



**加工設備の充実により
安定的な収益向上**

業績連動ながら連結配当性向30%を基本に安定かつ 高い水準の利益還元を継続



鉄鋼市況の動向

- メーカーの値上げ圧力は継続しているものの、スクラップなどの原材料価格が乱高下し、市況は下落局面となっており、下期も不透明感が続く
- 米中貿易摩擦など海外情勢により、原材料ならびに商品市況に大きく影響を及ぼす恐れ

需要の動向

- 地域差はあるものの、需要環境は建設関連業界を中心に概ね好調に推移しており、今後も 高原状態は継続する見込み
- 海外情勢により輸出関連企業の需要動向に不透明感が広がる

供給の動向

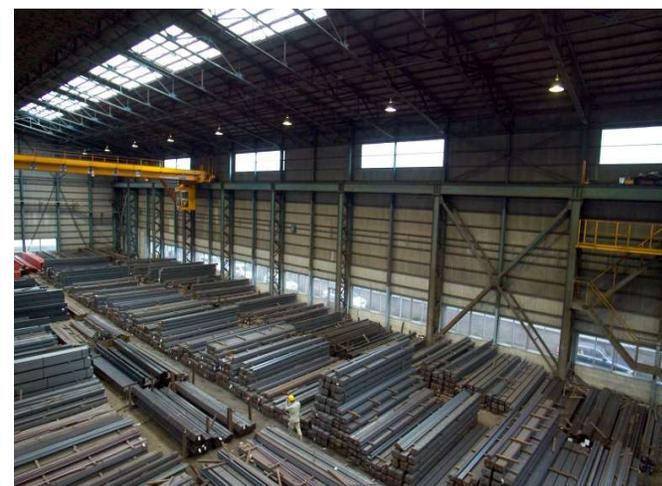
- 建材メーカーサイドの商品供給納期が長期化しており、さらに工務関係者（工事管理者・職人など）の不足により工事遅延が継続



商号	小野建株式会社
設立	1949年8月
代表者	小野 建
資本金	42億9,980万円
連結売上高	2,321億6,400万円
従業員	718 人(連結)
上場取引所	東京①・福岡(7414)
本社	福岡県北九州市
業種	鉄鋼・建材流通商社
主な事業内容	鋼材の販売・加工 土木建築材料の販売 土木建築工事の請負



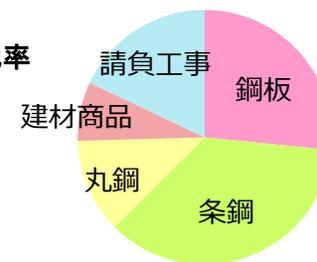
小野建株式会社本社 小倉支店



小倉支店 倉庫内

取扱品種

売上比率



鉄鋼商品

鋼板

鉄を板状にしたもの
工事現場の敷板等に用いられる



条鋼

型鋼とも呼ばれ、色々な形に
成形したもの
建物の骨組等に用いられる



丸鋼

鉄を丸い棒状にしたもの
建物の基礎等に用いられる



建材商品

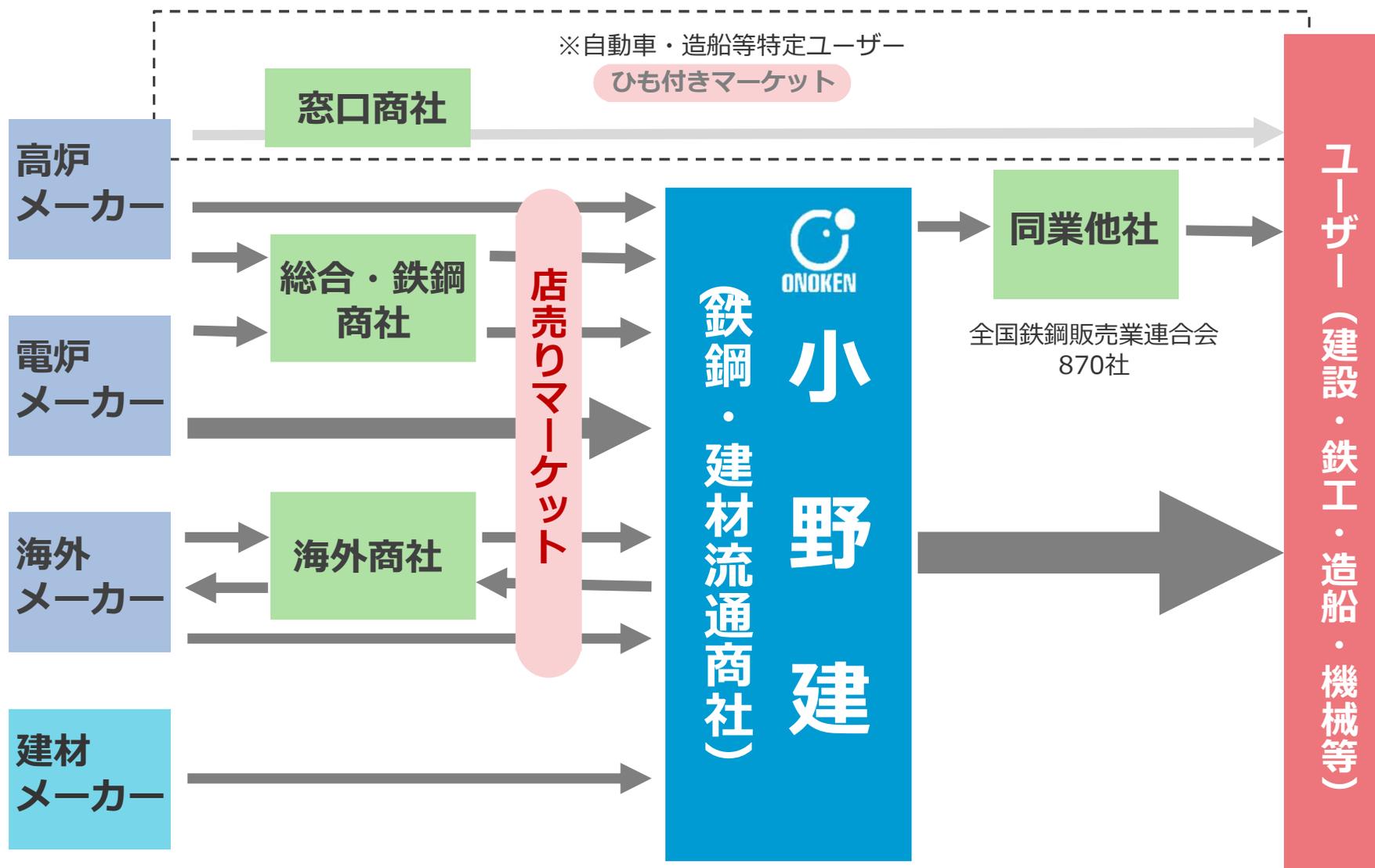
土木・建築工事に
使用される材料
鋼矢板・屋根・
フェンス・サッシ
等
写真はフェンス、
鋼矢板



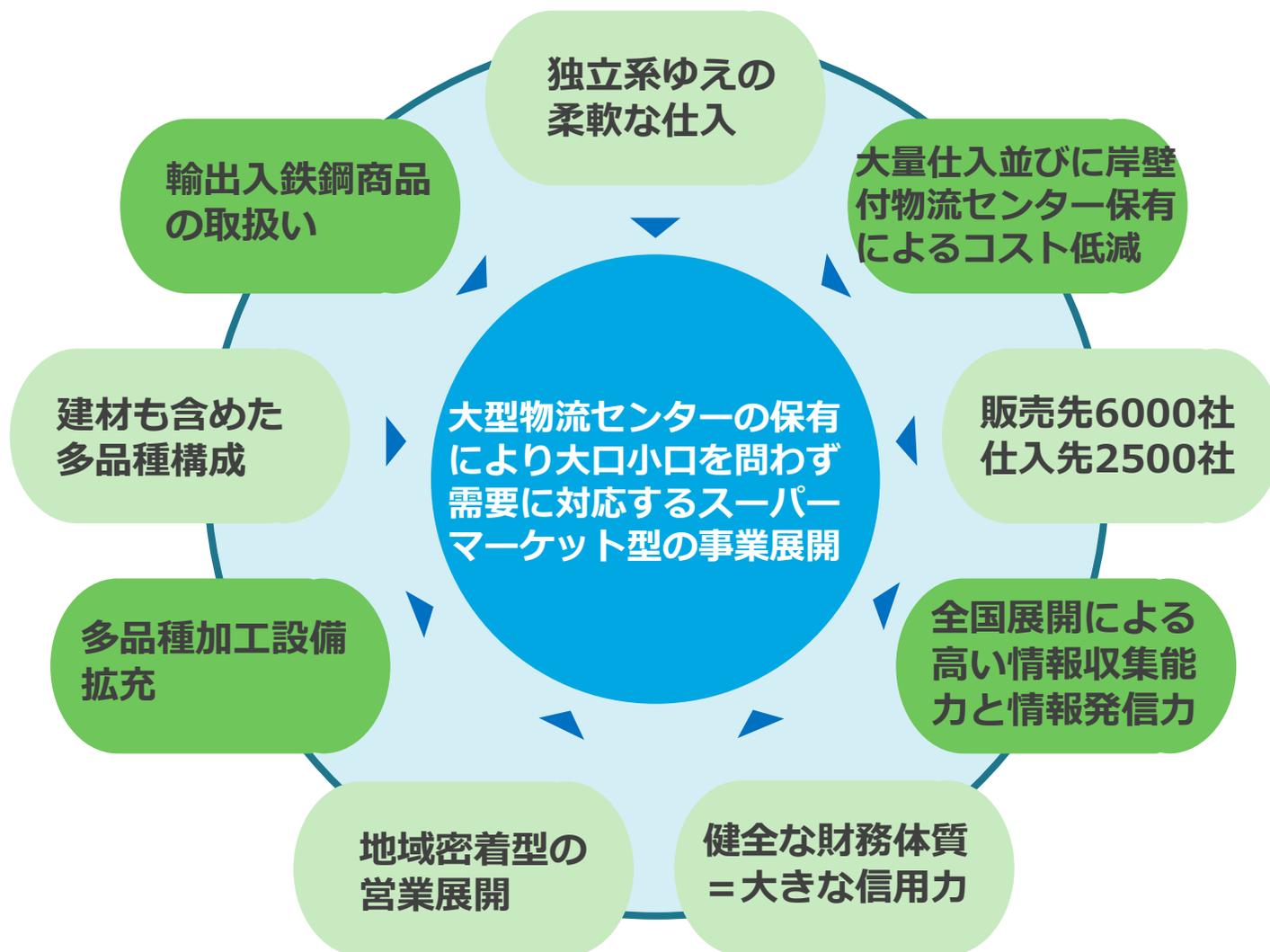
工事請負

鉄骨工事
屋根工事
外壁工事
サッシ工事
杭工事 など



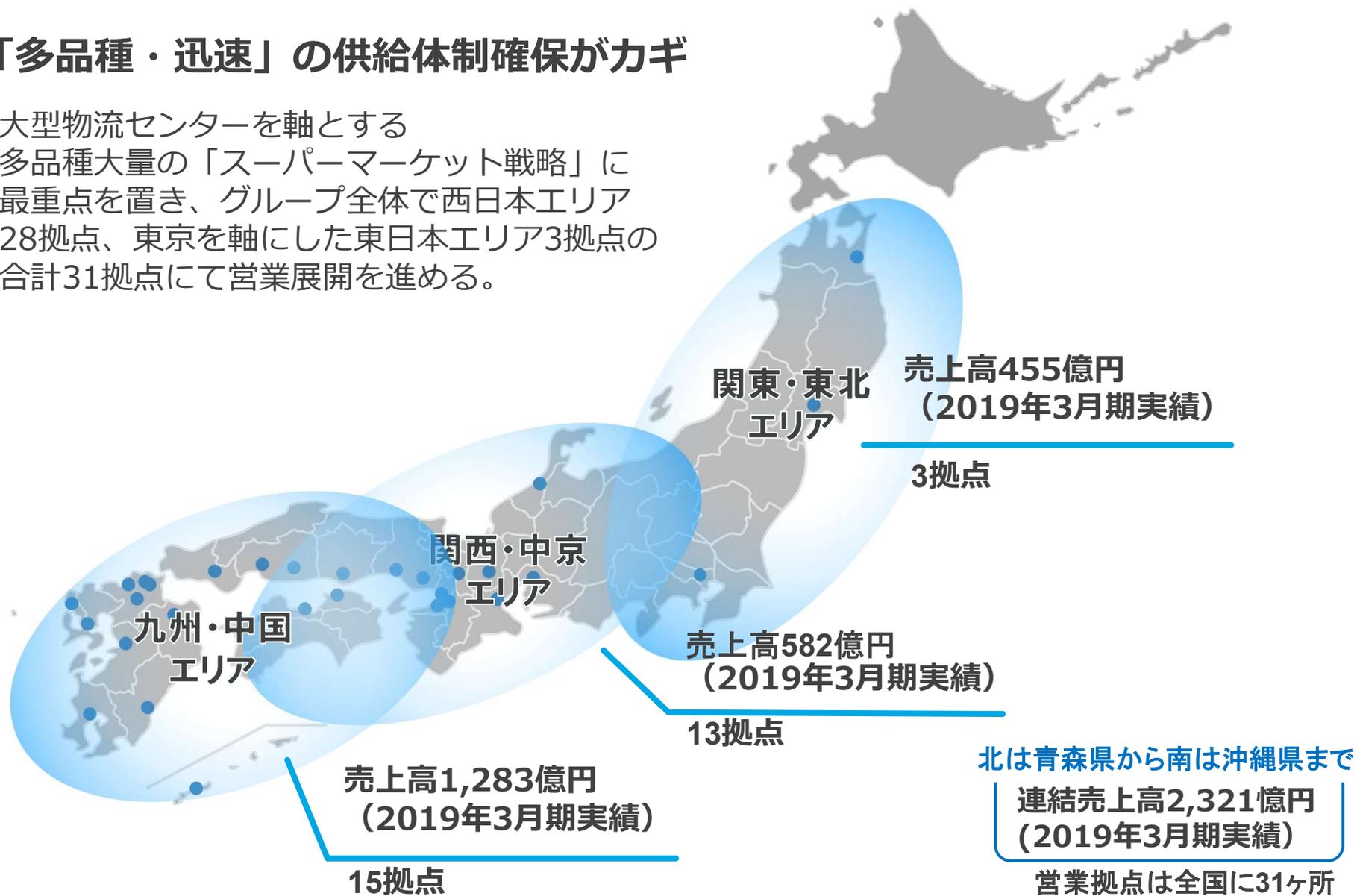


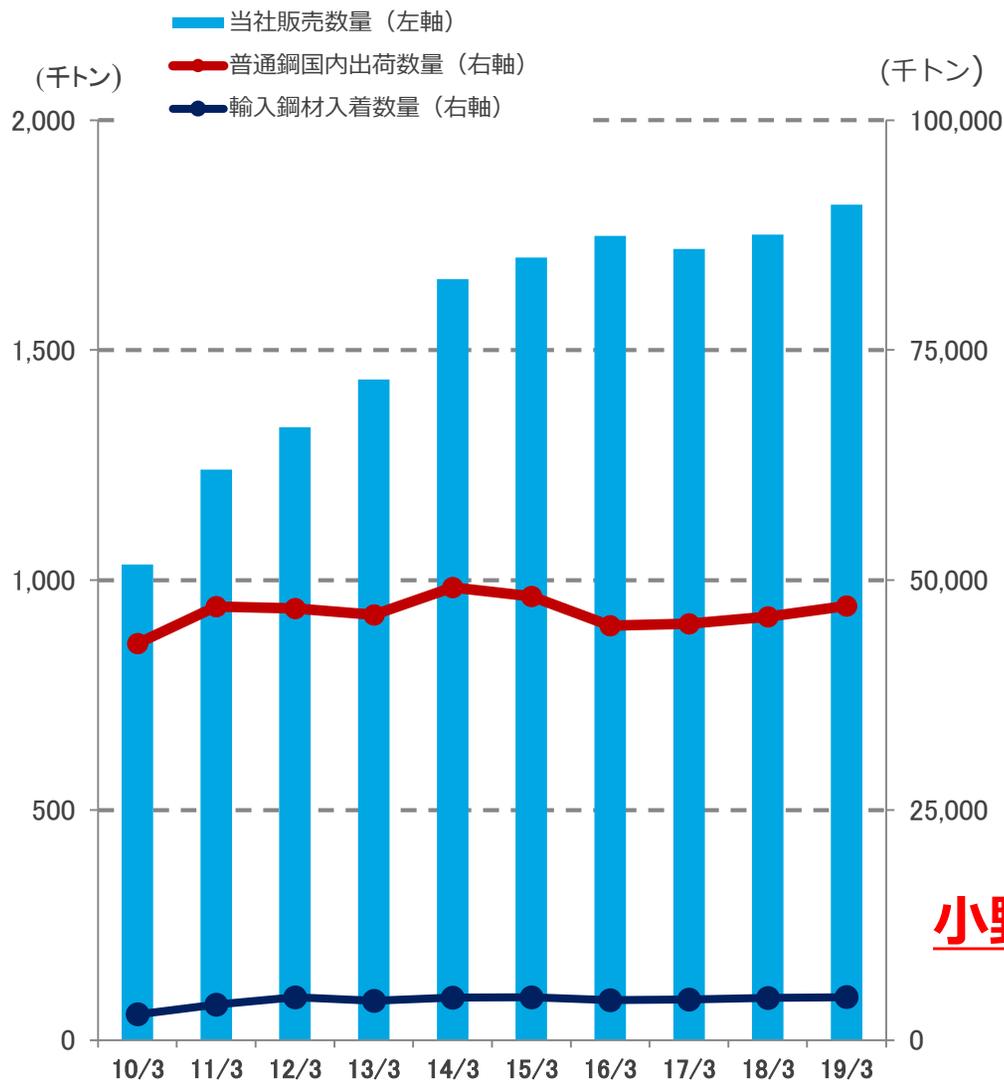
物流センターを活用した「鉄と建材のスーパーマーケット」



「多品種・迅速」の供給体制確保がカギ

大型物流センターを軸とする
多品種大量の「スーパーマーケット戦略」に
最重点を置き、グループ全体で西日本エリア
28拠点、東京を軸にした東日本エリア3拠点の
合計31拠点にて営業展開を進める。





※日本鉄鋼連盟資料より当社作成

市場との比較

- 普通鋼国内出荷数量は、近年横ばいの傾向にある中、当社の販売数量は順調に増加
- 全国と同業者約700社の中でトップシェアながら現在3%程度今後もエリアを拡大し、販売数量を伸ばす

今後人口減少等により市場は縮小していくことが予想されるが、

小野建の強みを活かして勝ち残りへ

● 付加価値の向上の為、加工設備の拡充と物流センター新設の促進

- 加工商品販売に注力し、今後販売比率を高め、他社との差別化と収益率アップを目指す

● 工事請負の拡大

- 鉄骨加工業者とのネットワーク構築の推進
- 施工管理者の育成強化
- 技術集団(職人等) の育成強化



同業他社との差別化と収益向上を目指す